※生成AIにより作成した「羽越新幹線の走行想像図」です。実際の運行計画や特定の団体・企業とは関係ありません。

地域の将来をつなぐ、
新たな一歩を。

令和8年
12月9日
(水)
14:00～16:00
(開場 13:30)

羽越新幹線で地域の明日をもっと豊かに

羽越新幹線に関する勉強会



テーマ
新幹線基本計画路線をめぐる、
最新動向と羽越新幹線の方向性

会　場
東京第一ホテル鶴岡　1階 鳳凰の間

講　師
共同通信社 経済部次長
大塚　圭一郎 氏

意見発表
アクシスＩＴパートナーズ株式会社
山形オフィス長 **尾形 泰弘** 氏

合同会社YUI
代表社員 **中野 律** 氏

定　員
250名

講演内容
① 国の「ケーススタディ」について
② 羽越新幹線が調査対象となるための取組について
③ 羽越新幹線の必要性・地域にとっての意義について
④ 機運醸成と今後の活動について

WEBからのお申し込み

下のQRコードより
お申し込みください。

FAXは裏面を
ご記入ください

https://trcci.or.jp/
261209seminar/

参加無料

どなたでも
ご参加いただけます

主催：鶴岡商工会議所・鶴岡市　TEL:0235-24-7711
共催：山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会・村上商工会議所・村上市
後援：一般社団法人 東北経済連合会・庄内開発協議会

新幹線でつなぐ、庄内の明日の可能性

羽越新幹線の実現に向けて



最新動向を知り、地域にとっての意義とこれからの取り組みを考える

富山市から新潟市、山形県庄内地方、秋田市などを経由して青森市に至る羽越新幹線は国の「全国新幹線鉄道整備法」に基づいて1973年に策定された基本計画路線の一つです。
基本計画路線は半世紀余りにわたって塩漬け状態でしたが、国土交通省は2026年度予算に初めてとなる整備手法を調査する「ケーススタディ」を盛り込み、四国新幹線と東九州新幹線の2路線が対象に選ばれました。
国が基本計画路線の取り組みを進めることになった理由とその背景、羽越新幹線を調査対象にするための機運醸成に向けた取り組みなどを語ってもらいます。

講師紹介



トランスイート四季島で撮影

大塚 圭一郎 氏

共同通信社 経済部次長
鉄旅オブザイヤー審査員・乗りものニュース執筆者

1973年4月、東京都杉並区生まれ。国立東京外国語大学外国語学部フランス語学科卒。97年4月に共同通信社に記者職で入社。松山支局、大阪支社経済部、本社（東京）の経済部、ニューヨーク支局特派員、福岡支社編集部次長、ワシントン支局次長などを経て2024年9月から現職。通算10年間住んだアメリカなどの経済情勢、国内外の運輸・旅行・観光分野を長く取材しており、執筆や講演、J-WAVE（東京）やSBC信越放送（長野県）などのラジオ・テレビ・ポッドキャストの番組出演も多い。共著書に『わたしの居場所』（現代人文社）など。13年度から「鉄旅（てつたび）オブザイヤー」審査員を務めており、第16回（26年度）で14年連続。VIA鉄道カナダの日本の公式愛好家団体「VIAクラブ日本支部」会員。自他共に認める鉄道ファンで、山形県内の全鉄道路線に乗車した。東京都品川区在住。

意見発表者

アクシスＩＴパートナーズ株式会社
山形オフィス長 **尾形 泰弘 氏**

ソフトウェア開発・AI導入支援などのソリューション提供事業を展開。
本年4月には鳥取県所在の東証上場企業と合流。同社の山形オフィス長を務める傍ら鶴岡商工会議所でDX推進協議会の会長などを務め、地域振興に精力的に取り組んでいる。羽越新幹線の可能性・同氏の展望する地域の将来について発表いただきます。

合同会社YUI
代表社員 **中野 律 氏**

鶴岡・庄内の食文化を軸に、新潟県の旅行会社と連携し、地域資源を生かした商品開発や体験型ツアーの企画を展開。首都圏や台湾などからも食に関心をもつ人々を呼び込んでいる。
食文化継承と地域の価値づくりを目指す同氏の立場から、羽越新幹線がもたらす波及効果に対する期待について語っていただきます。

FAXからのお申し込み

下記の申込用紙にご記入のうえ、送信してください。

会社名	TEL　　－　　－
参加者名	役職
参加者名	役職
参加者名	役職

FAX 番号 **0235-24-6171**（鶴岡商工会議所）